



Operator's Guide オペレータガイド

【日本語版】

...interactive whiteboard

9200IW Plus

...deluxe interactive whiteboard

9200IC Plus



日本語版

2006年4月発行

Copyright © 2005, 3M.

All Rights Reserved.

目次

概要

| | |
|--|----|
| はじめに..... | 5 |
| 危険防止のために..... | 5 |
| 使用環境..... | 5 |
| 危険防止ラベル..... | 9 |
| 本書の保管..... | 9 |
| 商標..... | 9 |
| 特許..... | 9 |
| ソフトウェアおよび著作権使用許諾契約..... | 9 |
| <3M> Digital Wall Display テクニカルサポート..... | 9 |
| FCC クラス A 準拠について..... | 10 |
| EEC クラス A 準拠について..... | 10 |
| 機種が表示、各機種の違い..... | 11 |
| 梱包内容..... | 12 |
| オプションアクセサリ..... | 12 |
| 備考..... | 12 |
| 各部の名前..... | 13 |
| <3M> Digital Wall Display の主な特長..... | 14 |

設置とセットアップ

| | |
|---------------------|----|
| 設置前の注意事項..... | 15 |
| ウォールブラケットの取り付け..... | 16 |
| 本機の壁掛け作業..... | 17 |
| セットアップ..... | 19 |

オペレーション

| | |
|--------------|----|
| スタートアップ..... | 20 |
| シャットダウン..... | 21 |

リモコンユニット

| | |
|-----------------|----|
| 主な特長..... | 22 |
| 上部キーパッド..... | 23 |
| 内部キーパッド..... | 23 |
| トリガーボタン..... | 23 |
| 電池の取り付けと交換..... | 24 |

デジタルマーカーとイレーサー

| | |
|---------------------|----|
| デジタルマーカーの組み立て..... | 25 |
| デジタルイレーサーの組み立て..... | 26 |

メニューシステム

| | |
|---------------|----|
| メニューの表示 | 27 |
| 音声 | 27 |
| 映像 | 27 |
| 画像 | 28 |
| PIP | 28 |
| 構成 | 29 |

<3M> Digital Wall Display を電子黒板モードで使用する

| | |
|---|----|
| eBeam ソフトウェアのインストール | 30 |
| ソフトウェアのインストール | 30 |
| 電子黒板モード (9200IC Plus のみ) | 30 |
| 投影モード (9200IW Plus /IC Plus のみ) | 30 |
| 電子黒板モードで利用する (9200IC Plus のみ) | 31 |
| 投影モードで利用する (9200IW Plus/IC Plus のみ) | 32 |

メンテナンス

| | |
|-----------------------|----|
| 日常のお手入れ | 34 |
| ランプの交換時期 | 34 |
| ランプ関連のメッセージ | 34 |
| ランプの交換 | 35 |
| ランプ使用時間のリセット | 38 |
| ファンフィルターのクリーニング | 38 |
| 投影スクリーンの交換 | 39 |
| 光学エンジンの調整 | 40 |

トラブルシューティング

| | |
|--------------------|----|
| 一般的な問題と対処方法 | 43 |
| オンスクリーンメッセージ | 44 |

サービス情報

| | |
|------------------|----|
| パーツとアクセサリ | 45 |
| オプションアクセサリ | 45 |
| お問い合わせとご注文 | 45 |

付録

| | |
|------------------------------------|----|
| <3M> Digital Wall Display 仕様 | 46 |
| 入出力信号仕様 | 47 |
| コンピュータ互換性 | 47 |

概要

はじめに

このたびは、<3M> Digital Wall Display をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。本機は、長期にわたり快適にご利用いただけるよう、3M の厳密な品質・安全規格に従い製造された製品です。

本機を会議や教育、プレゼンテーションに存分にご活用いただくため、本書に記載の操作手順を遵守してください。

危険防止のために

<3M> Digital Wall Display の設置およびご利用に先立ち、本書に記載の危険防止情報をよくお読みください。本書は何時でも参照できる場所に保管してください。

使用環境

<3M> Digital Wall Display をご利用になる前に、本書をよくお読みください。本機は 3M 製のランプと取付具、現地の標準電圧により屋内で使用することを前提に設計・製造・試験されております。





上記以外のランプや電圧を使用したり、本機を屋外で利用すると、本機および周辺機器の破損や思わぬ事故の原因となりますので、ご注意ください。

本機の使用環境は以下の通りです。

- 温度: 16°C～29°C
- 相対湿度: 10%～80% (結露しないこと)
- 海拔: 0 m～1,828 m

本機の周囲に正常な作動の妨げとなるようなほこり、煙、油などの汚染物質がないことを確認してください。

本機を不適切な環境で使用すると保証が無効になることがありますので、ご注意ください。

| 危険防止ラベルと指示書の記号と用語の意味 | |
|---|------------------------------------|
| 危険: | 人員の死傷および財物の損壊を招く恐れがある潜在的な危険性を示します。 |
| 警告: | 人員の軽傷および財物の損壊を招く恐れがある潜在的な危険性を示します。 |
|  | 危険: 高電圧 |
|  | 警告: 高温 |
|  | 危険: 高圧 |
|  | 注意: 指示書の危険防止情報を参照してください。 |

**高電圧の危険防止のために:**

- 本機に対して日常のランプ交換以外の保守は行なわないでください。本機には、投影ランプユニット以外に保守点検可能な部品はありません。その他の保守点検は、3M 認定サービス会社にご用命ください。
- ランプ交換の際は、事前に本機の電源スイッチを OFF にして電源コードをコンセントから抜いてください。コードはプラグ部分を持って抜いてください。
- 破損した電源コードは交換してください。
- 本機はアースされたコンセントに接続してください。
- 本機を水気のある環境で使用しないでください。

高電圧および火災の危険防止のために:

- 本機を長期間にわたり使用しない場合は、本機の電源スイッチを OFF にして電源コードをコンセントから抜いてください。
- 延長コードが必要な場合は、適切な定格のコードを使用してください。ご不明の点は電気技師にご相談ください。

怪我や捻挫の危険防止のために:

- 壁面への取り付けが必要な場合は、必ず 3M 製の壁面取付キットを使用してください。
- 壁面または可動式カートへの着脱に際しては、指示書の記載事項を厳守してください。
- 本機の着脱は必ず 2 名以上で行なってください。
- カートと本機を常に安定させてください。

ガラス粉が投影アームから目に落下する危険を防止するために:

- 万一ランプが破裂した場合は、投影アームを見上げないでください。

ランプユニットによる高温の危険防止のために:

- ランプ交換は、45 分以上経過してランプユニットが常温になってから行なってください。

高温のランプによる高圧の危険防止のために:

- ランプ交換は、45 分以上経過してランプユニットが常温になってから行なってください。

ランプの破裂による危険防止のために:

- ランプは高圧・高温で発光するため、ランプが破裂した場所は換気してください。
- 破裂したランプの交換は、3M 認定サービス会社にご用命ください。
- ランプユニットは壊れやすいので、常に慎重に取り扱ってください。
- ランプの破片に触れた場合は、手を十分に洗ってください。
- ランプ交換のメッセージが表示されたらランプモジュールを交換してください。
- 一度使用したランプモジュールは再利用しないでください。

窒息の危険防止のために:

- お子様やペットが電池に触れないようにしてください。

投影ランプの水銀による環境汚染の危険防止のために:

- ランプカートリッジはゴミ箱に投棄せず、各地域の有害廃棄物条例に従って処分してください。詳細については、地方自治体の窓口またはホームページでご確認ください。

**危険****鉛系ハンダによる環境汚染の危険防止のために:**

- 回路基板はゴミ箱に投棄せず、各地域の有害廃棄物条例に従って処分してください。

電波干渉の危険防止のために:

- 本機はクラス A 製品 (VCCI-A) です。ご家庭でご利用の場合は電波干渉を起こすことがありますので、適切な処置をとってください。

アルコール系クリーナーの使用に伴う危険防止のために:

- 製品のラベルに記載された注意事項を順守してください。

**警告****ケーブル類につまづく危険を防止するために:**

- 本機の電源コードとデータケーブルは、歩行の邪魔にならない場所に通してください。

薬品の漏れ、電池の過熱や破裂の危険防止のために:

- リモコンでは同種の単四アルカリ電池を使用してください。
- プレゼンテーションペンでは同種の単三アルカリ電池を使用してください。
- ペンとイレーザーには同種の CR2032 リチウムコイン電池を使用してください。
- 火災および 100°C 以上の熱源は避けてください。
- 電池をショートさせないでください。
- 電池に再充電しないでください。
- 電池を破壊・分解しないでください。
- 電池が破裂・破損した場合、内容物の目や皮膚への接触、吸入や誤飲を避けてください。
- 電池はすべて一括して交換してください。
- 電池のプラス側とマイナス側を正しい向きにしてください。
- 長時間使用しない場合は電池を抜いてください。

投影アームからの衝撃および可動式カート脚部への引っかかきの危険防止のために:

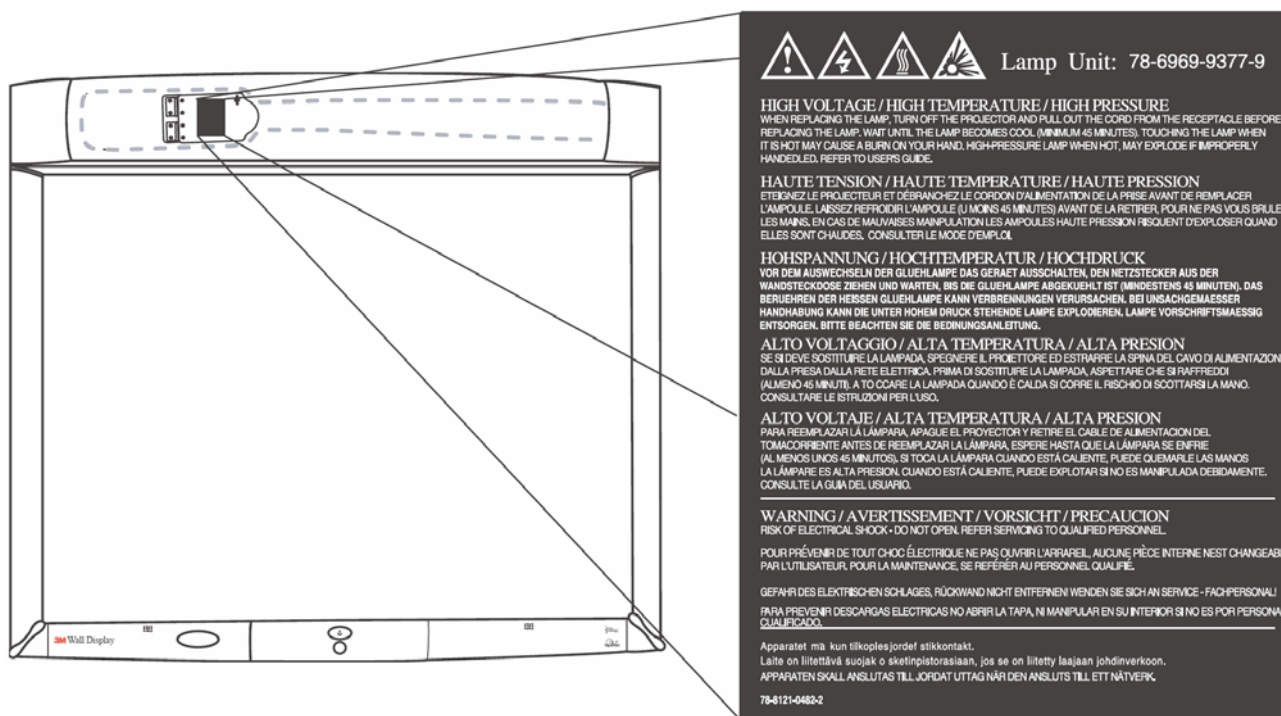
- 本機の周囲にお子様がいる場合は、必ず大人の方が付き添ってください。
- お子様は投影アームにつかまらないようにしてください。

注意事項

- 本機は 100～240 V±10 V で作動しますが、電力の低下あるいは±10 V のサージで作動不能になることがあります。電圧が不安定な地域では電圧安定器をご利用ください。
- 本機の作動中に投影アームを手動で開閉しないでください。
- 本機を移動させる場合に備えて、搬送用の箱と梱包材は保管しておいてください。
- 他の壁材(木材、コンクリート、コンクリートブロックなど)については、本機の重量およびその壁材の特性に適合する取付具を使用してください。
- 本機の中で最も重いのは投影ヘッド/スピーカー部です。
- 画像と音声の品質低下を防ぐため、ケーブルは同梱のものを使用してください。他のケーブルを使用すると、画質の劣化や雑音の原因となることがあります。
- ON/OFF ボタンが作動可能な状態に戻るまで 30 秒のリセット間隔があります。この間は、ON/OFF ボタンが赤で点滅します。
- 本機を特に移動しない(電源コードを抜かない)場合は、主電源スイッチを ON のままにしておいたほうが便利です。
- 主電源スイッチを OFF にしたり、電源コードを抜く場合は、ON/OFF ボタンを押してからにしてください。ON/OFF ボタンを押した後も、ファンは放熱のため 5 分間作動し続けます。
- マウスモードを使用するには、本機とコンピュータを USB またはシリアルマウスケーブルで接続してください。
- 高温多湿を避けてください。新しい電池と古い電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- eBeam ソフトウェアは、マーカー自体でなくマーカースリーブの色を認識します。マーカーを本機のスクリーンに押し付けると、スリーブの色の書き込み信号が送信されるようになっています。
- マーカースリーブの発信器は先端部分にあります。書き込みをするときには、信号をさえぎることのないように、スリーブの筒の部分を持ってください。
- ボードの内容を消去する前に[新ページ]で保存してください。
- アームカバーは「カチッ」というまで確実に差し込んでください。
- ランプカートリッジを交換していない場合は、部品を破損することがありますので、ランプの使用時間をリセットしないでください。
- アームユニットを上下に動かして無理な力がかからないようにし、アームが元に戻り定位置に画像を投影することを確認してください。
- 画像を正しくセンタリングするには、横方向の調整が必要になることがあります。

危険防止ラベル

<3M> Digital Wall Display の上部には下図の危険防止ラベルがついています。



高電圧/高温/高気圧

ランプの交換は、プロジェクタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた状態で行なってください。ランプの熱が冷めるまで(45分以上)お待ちください。高温状態のランプに触れると、手を火傷することがあります。高温状態の高圧ランプは、適切に取り扱わないと破裂することがあります。オペレータガイドを参照してください。

危険

感電に注意！開かないでください。点検は専門の技師にご依頼ください。

本書の保管

操作や保守の際にすぐに参照できるように、本書を<3M> Digital Wall Display の近くに保管してください。

商標

3M は、3M Company の登録商標です。その他の商品名や社名は、当該各社の職標、商標、登録商標です。

特許

3M Digital WallDisplay は、Utility Patent 6,179,426 および Design Patent D442,205 によって保護されています。その他の特許も申請中です。

ソフトウェアおよび著作権使用許諾契約

ここで配布されるソフトウェアは、Luidia, Inc.が著作権を所有し、使用許可しているものです。

<3M> Digital Wall Display テクニカルサポート

- 住友スリーエム株式会社 ビジュアルシステムズプロジェクト部: 0120-615-110
- ウェブサイト: http://www.mmm.co.jp/wall_display

FCC クラス A 準拠について

本機は FCC 規制 15 章に準拠しており、運転は以下の 2 条件を前提とします。

- (1) 本機が有害な電波干渉を起こさないこと。
- (2) 本機が電波干渉(望ましくない作用を起こすものを含む)を受けても耐えられること。

お客様へのお願い

本機は、FCC(米連邦通信委員会)の定めるクラス A のデジタル機器に対する許容条件につき、所定の審査のうえ、FCC-15 章の規制内容に適合するものとして認定されています。こうした規制の目的は、本機が商業地域で利用される際、有害な干渉を一定の範囲内で防止することにあります。本機は無線周波数エネルギーを発生・使用・発散するため、インストラクションマニュアルに従って設置・利用されませんと、無線通信にかなりの電波干渉を引き起こすことがあります。本機を住宅地でご利用になった結果、こうした障害が起きた場合は、お客様ご自身のご負担により、適切な処置を講じられますようお願い申し上げます。

備考

このクラス A デジタル機器は、カナダの「干渉発生機器規制」の全条件に適合しています。

EEC クラス A 準拠について

本機は EMC(電磁両立性)に関する 89/336/EEC(欧州経済共同体)試験を受けており、その条件に適合しています。

ビデオ信号ケーブル

必ず二重被覆同軸ケーブル(FCC シールドケーブル)を使用し、外側のシールドをアースに接続してください。通常と同軸ケーブルを使用する場合は、干渉ノイズの放射を抑えるため金属パイプに通すなどの措置をとってください。

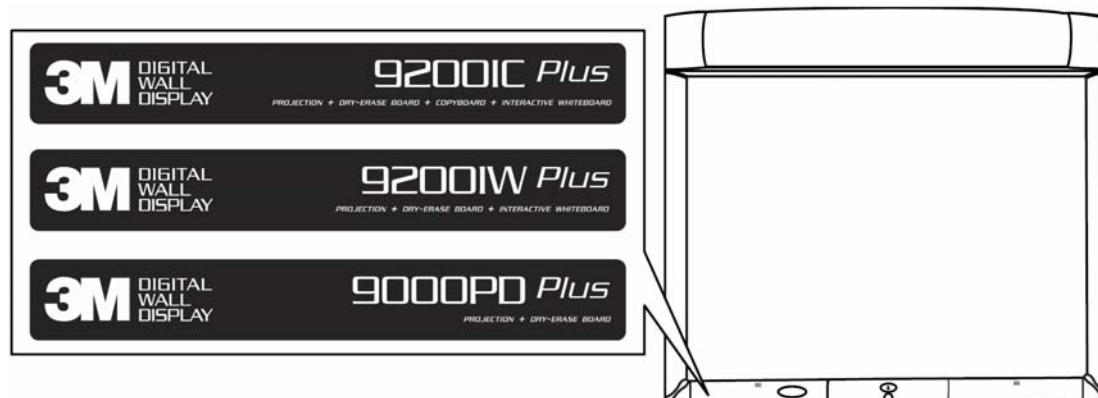
ビデオ入力

入力信号振幅は仕様(付録参照)の範囲内とします。

機種ごとの表示、各機種の違い

機種ごとの表示

<3M> Digital Wall Display の機種は、ストレージカバーの内側にあるネームプレートに記載されています。ストレージカバーは押すと開きます。ネームプレートを下図に示します。型番と機種ごとの対応は下表の通りです。



| 型番 | 機種 |
|-------------|---|
| 9000PD Plus | <3M> Digital Wall Display 9000PD Plus (プロジェクションタイプ) |
| 9200IW Plus | <3M> Digital Wall Display 9200IW Plus (インタラクティブホワイトボードタイプ) |
| 9200IC Plus | <3M> Digital Wall Display 9200IC Plus (オールインワンインタラクティブボードタイプ) |

各機種の違い

各機種ごとの違いを下表に示します。

| 型番 | 投影スクリーン | コピーボード* | インタラクティブホワイトボード** |
|-------------|-----------------|---------|-------------------|
| 9000PD Plus | イーージードライイレース+投影 | × | × |
| 9200IW Plus | | × | ○ |
| 9200IC Plus | | ○ | ○ |

* <3M> Digital Wall Display 上に書き込んだ内容をプリンタへ出力することができます (PCL3、PCL4、PCL5 対応プリンタ使用。適合機種については販売店にご確認ください)。

** <3M> Digital Wall Display 上に書き込んだ内容をコンピュータに取り込むこと、あるいは<3M> Digital Wall Display をコンピュータ用のインタラクティブモニタとして使用することができます。

梱包内容

<3M> Digital Wall Display には、VCR、PC、Macintosh、ラップトップコンピュータとの接続に必要なケーブルなどが付属しています。本機の梱包を解いたら、以下のものがすべて揃っているか確認してください。梱包内容に欠損がある場合は、販売店までご連絡ください。



オプションアクセサリ

- スペアランプ 8510LK
- 高輝度スクリーン
- ホワイトボードスクリーン

注意: 本機を移動させる場合に備えて、搬送用の箱と梱包材は保管しておいてください。

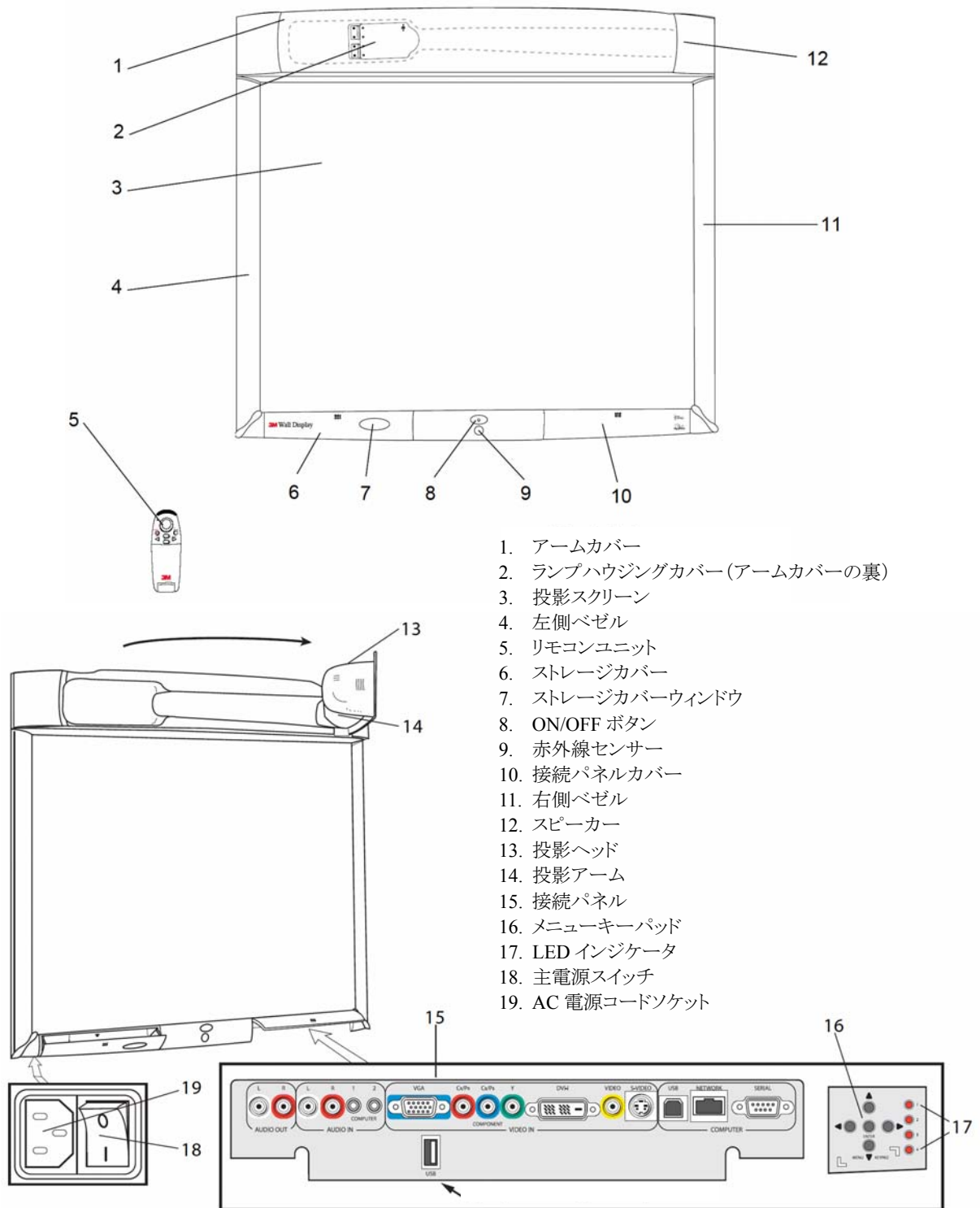
備考

<3M> Digital Wall Display の設置が完了したらセットアップに入ります。

<3M> Digital Wall Display を使用する前に、本書をよくお読みください。

弊社ウェブサイト http://www.mmm.co.jp/wall_display では最新情報をご案内しておりますので、こちらをご覧ください。

各部の名前



- 1. アームカバー
- 2. ランプハウジングカバー(アームカバーの裏)
- 3. 投影スクリーン
- 4. 左側ベゼル
- 5. リモコンユニット
- 6. ストレージカバー
- 7. ストレージカバーウィンドウ
- 8. ON/OFF ボタン
- 9. 赤外線センサー
- 10. 接続パネルカバー
- 11. 右側ベゼル
- 12. スピーカー
- 13. 投影ヘッド
- 14. 投影アーム
- 15. 接続パネル
- 16. メニューキーパッド
- 17. LED インジケータ
- 18. 主電源スイッチ
- 19. AC 電源コードソケット

<3M> Digital Wall Display の主な特長

<3M> Digital Wall Display は、以下の機能性を満載した「オールインワン」のシステムです。

- 柔軟な接続性によりコンピュータ、ビデオ、DVD などでのプレゼンテーションに対応
- 大型 60 インチスクリーン
- ビジネスアプリケーションやデータ表示に最適のスクリーン縦横比 4 対 3
- フラットな画面で 170 度の広い視野角を実現
- スクリーン中心までの距離がわずか約 1 m のレンズで明るく歪みのない画像を提供
- プレゼンターが画像をさえぎらずに移動可能
- 強力なステレオスピーカーシステムを内蔵
- スイッチを押すだけでプロジェクタが起動
- 主な機能はハンディなリモコンから実行
- HD (High Definition) 対応
- 9200IC *Plus* と 9200IW *Plus* の特長
 - － 会議内容をカラーで書き出して各種フォーマットで保存 (JPEG、GIF、TIFF、HTML、PDF、ベクトル PDF、EPS、BMP、WBD)
 - － <3M> Digital Wall Display をコンピュータ画面のような感覚で使用
 - － 再生機能により、消去した項目も含め書き込み事項の再検討が可能
 - － 会議内容をインターネットでリアルタイムに共有
- 9200IC *Plus* の特長
 - － 会議内容を HP または Epson USB 互換型プリンタへダイレクトに出力

設置とセットアップ

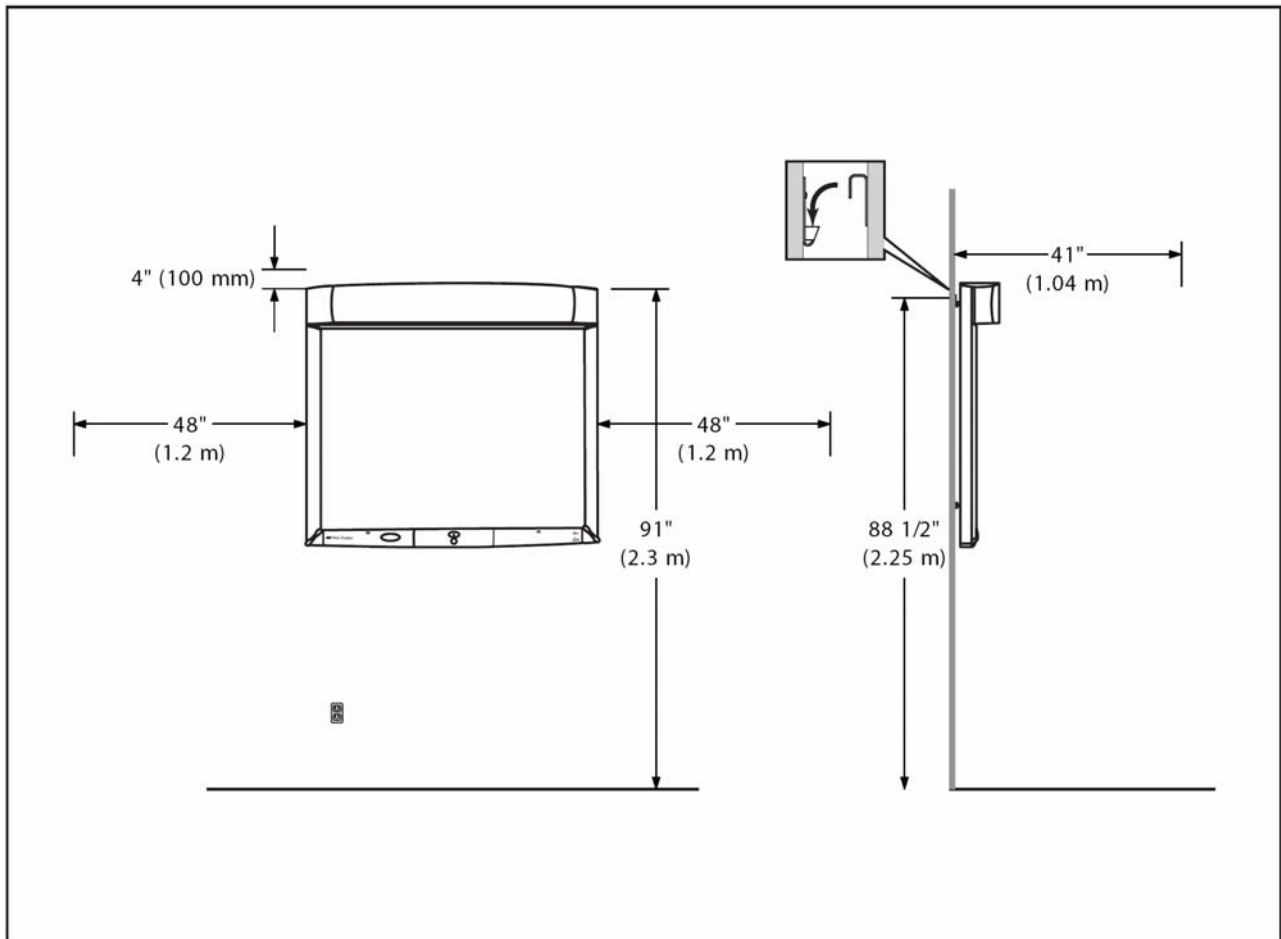
設置前の注意事項

本機の位置

- AC コンセントの付近: 本機の AC 電源接続部は左下にあります。本機に付属の AC 電源コードの長さは 2 m です。
- 点検およびスクリーンの交換: 交換や点検に際しては、本機の側面から投影スクリーンを取り外します。この作業を容易にするため、本機を壁面や障害物から 1.2 m 離して設置してください。
- 吊り下げ式の照明: 投影アームは本機の作動中に 1 m ほど飛び出しますので、吊り下げ式の照明に接触させないようにご注意ください。

換気(通気)

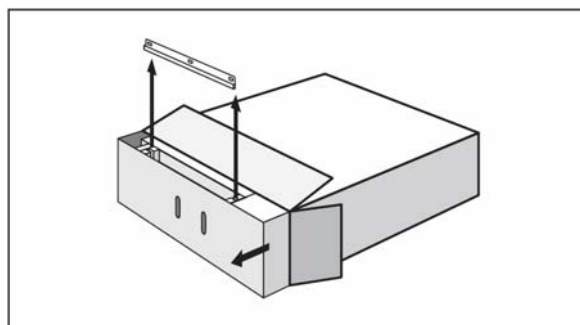
- 本機の周囲には 10 cm 以上の空間を確保してください。
- 通気口が異物やほこりでふさがらないようにご注意ください。



ウォールブラケットの取り付け

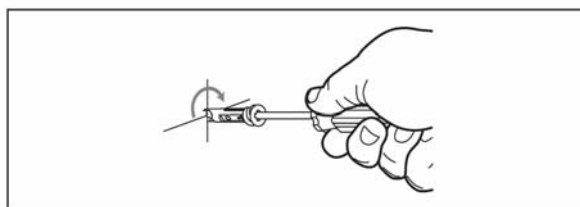
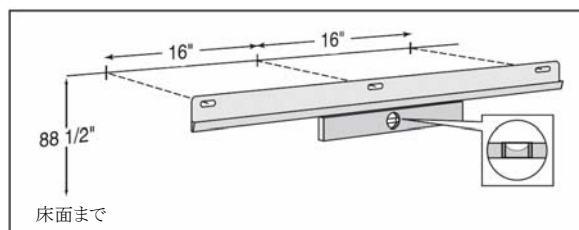
ウォールブラケットと金具の開封

1. 搬送箱を表向きにして床に置きます。
2. 搬送箱の一端を開きます。
3. 搬送用トレイを少し引き出します。
4. ウォールブラケットと金具を取り出します。金具はウォールブラケットにテープ付けされています。

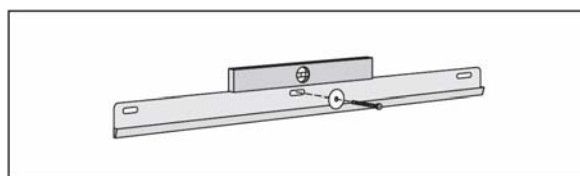


中空のウォール・ドライウォールの取り付け

1. 本機を取り付ける位置を決めます。壁内部の間柱の位置を確認します。
2. ブラケットを目的の位置で持ち、水準器で水平を確認し、壁に穴 3 箇所を印をつけます。3 箇所とも間柱が通っていないことを確認します。
3. プラスのドライバーで付属のアンカーを壁に最後までねじ込みます。



4. ウォールブラケットの穴と壁のアンカーを揃え、ウォールブラケットが水平になっていることを確認してからウォッシャーとアンカーネジで固定します。

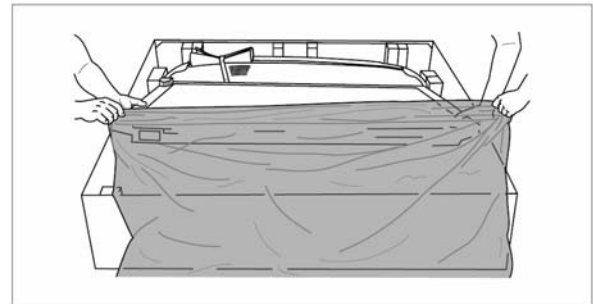
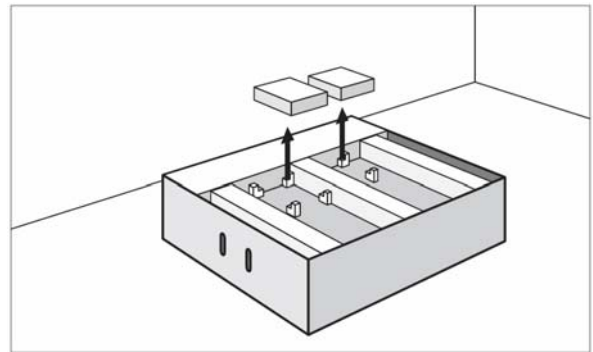


注意: 他の壁材(木材、コンクリート、コンクリートブロックなど)については、本機の重量およびその壁材の特性に適合する取付具を使用してください。

本機の壁掛け作業

本機の開封

1. 搬送箱を表向きにして床に置き、以前に開いた一端を開きます。
2. 搬送用トレーを引き出します。
3. 上部の支持具からアクセサリボックスを取り外します。
4. 支持具を取り外します。
5. 本機の上部を持ち上げ、本機の下部に向かってビニール袋を押し、本機の上部を下ろします。
6. 本機の下部を持ち上げてビニール袋を取り除きます。
7. 投影アーム固定用のテープをはがしてとっておきます。
8. 投影アームを左側から開いて梱包材を取り除きます。
9. 壁掛け作業中は、投影アーム固定用のテープを元通りに貼り付けます。

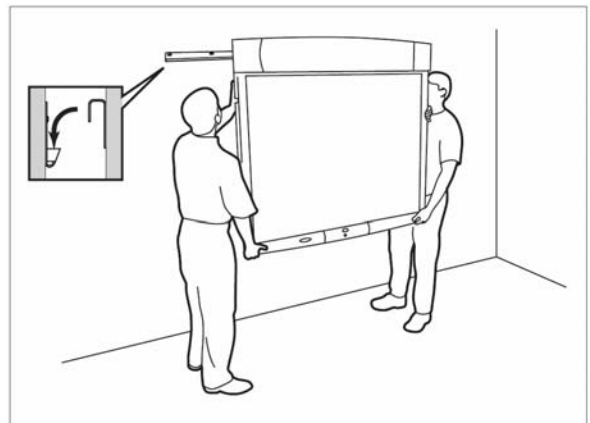
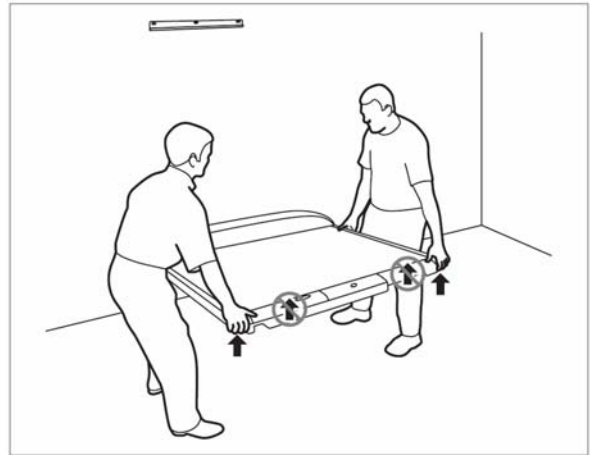


壁掛け作業

1. 可能ならば、本機を搬送用トレーに乗せた状態で、ブラケット取付位置の前に置きます。投影アームを壁側にしてください。
2. 本機と壁面の間に障害物があれば、どけておきます。

注意: 本機の中で最も重いのは投影ヘッド/スピーカ一部です。

3. 2名で本機の左右を持ち、本体側のブラケットを壁側のブラケットに引っかけます。本機が固定されたことを確認してから放します。
4. 投影アーム固定用のテープをはがします。

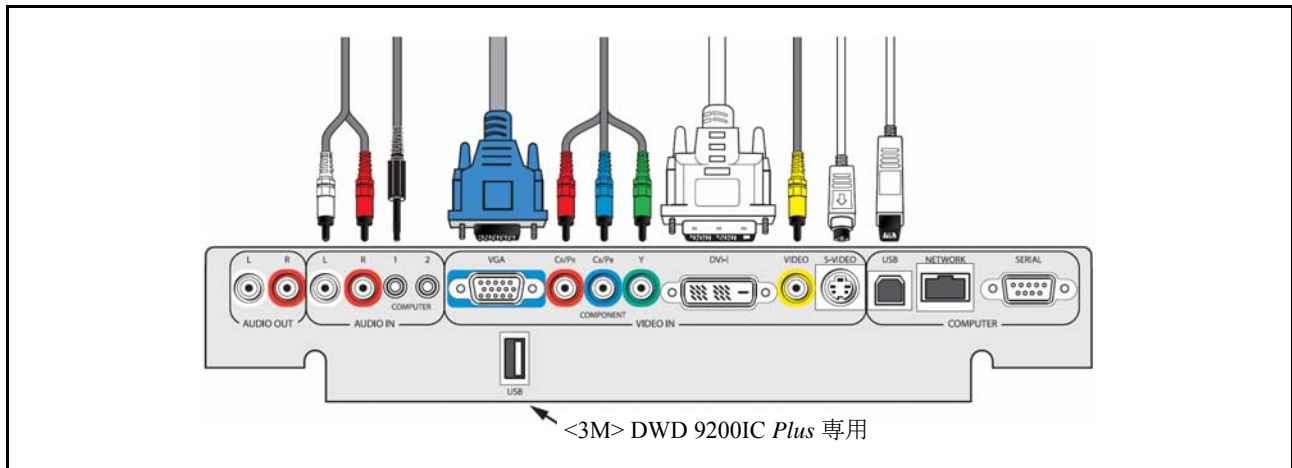


セットアップ

<3M> Digital Wall Display は、コンピュータ、VCR、DVD プレーヤー、テレビ会議ユニットなどの機器に簡単に接続することができます。

接続パネルは、本体右下の接続パネルカバー内にあります。接続パネルカバーは押すと開きます。

注意: 画像と音声の品質低下を防ぐため、ケーブルは同梱のものを使用してください。他のケーブルを使用すると、画質の劣化や雑音の原因となることがあります。



| | |
|---------------------|---|
| AUDIO OUT | 外付けオーディオアンプに接続。音源からの音声を供給。 |
| AUDIO IN | AV 機器 (VCR や DVD など) のオーディオ出力端子に接続。DVI、コンポーネント、S-Video およびコンポジットビデオ入力用の音声を供給。 |
| AUDIO IN - COMPUTER | コンピュータのオーディオ出力ポートに接続。VGA および DVI-D (Digital Visual Interface -Digital) 入力用の音声を供給。 |
| VGA | コンピュータの VGA またはモニタ出力ポートに接続。 |
| COMPONENT VIDEO | コンポーネントビデオ出力機に接続。 |
| DVI-I | DVI-D (デジタル) または DVI-I (アナログ) 出力機に接続。DVI EDID の設定が必要。アナログ信号用に DVI-D~アナログ RGB アダプタを使用。 |
| VIDEO | コンポジットビデオ出力機に接続。 |
| S-VIDEO | S-Video 出力機に接続。 |
| USB | コンピュータの USB ポートに接続してマウスをコントロール、eBeam 電子ホワイトボードとデータを送受信。<3M> Digital WallDisplay のリモコンまたはプレゼンテーションペンを使用。(eBeam は 9200IW/9200IC 専用) |
| NETWORK | イーサネットケーブルでネットワークへ接続。 |
| SERIAL | コントロールデバイスのシリアルポートに接続。RS-232C プロトコルとシリアルコマンドを使用して<3M> Digital Wall Display のコントロールを提供。 |
| USB PRINTER | HP 製 USB 互換型プリンタに接続。<3M> DWD 9200IC Plus 専用。 |

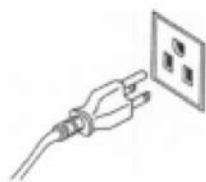
オペレーション

スタートアップ

1. 電源コードをコンセントに差し込みます。

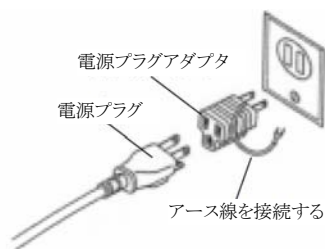
3つ穴コンセントを使用する場合

- (1) 電源コードのコネクタ側を本体の AC インレットに接続します。
- (2) 電源プラグをコンセントに接続します。

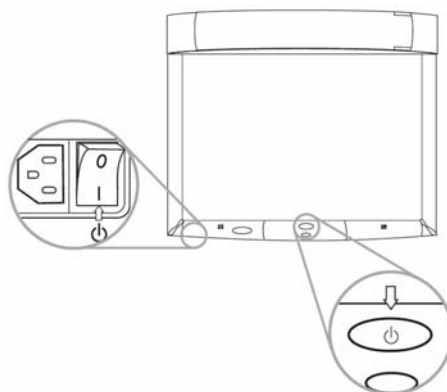


2つ穴コンセントを使用する場合

- (1) 電源プラグアダプタのアース線を接地します。
- (2) 電源プラグアダプタをコンセントに接続します。
- (3) 電源コードのコネクタ側を本体の AC インレットに接続します。
- (4) 電源プラグを電源プラグアダプタに接続します。



2. 本体左下の主電源スイッチを「I」位置 (ON) にします。通常、主電源スイッチはこのままにしておいてください。これで、<3M> Digital Wall Display はスタンバイモードになりました。数秒すると、中央下部の楕円形の ON/OFF ボタンがオレンジで点灯します。



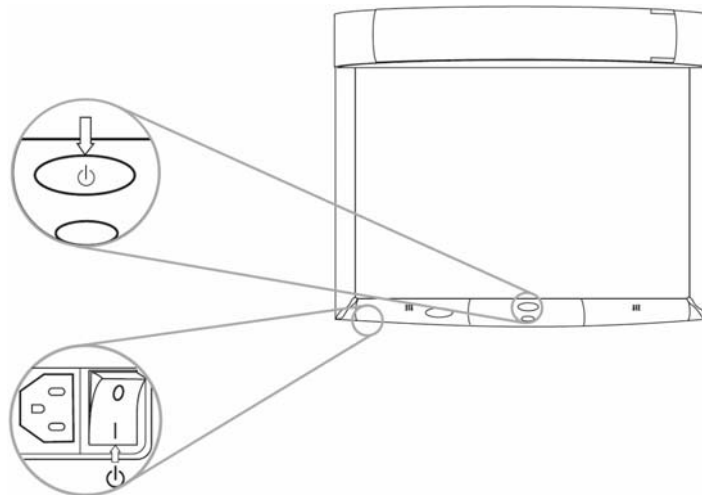
3. ON/OFF ボタンを押します。これで、投影アームが上部のハウジングから出てきます。投影アームの動きを邪魔しないように注意してください。
4. 投影アームが定位置まで出てくるとランプが自動的に発光し、60 秒ほどで高輝度の状態になります。ON/OFF ボタンは緑で点灯します。

シャットダウン

1. 中央下部の ON/OFF ボタンを押します。
2. ランプが消灯して投影アームがハウジング内に戻ります。その間、ON/OFF ボタンはオレンジで点滅します。

注意: ON/OFF ボタンが作動可能な状態に戻るまで 30 秒のリセット間隔があります。この間は、ON/OFF ボタンが赤で点滅します。

ファンは本機からの放熱のため 5 分間作動し続けます。



注意: 本機を特に移動しない場合は、主電源スイッチを ON のままにしておいてください。

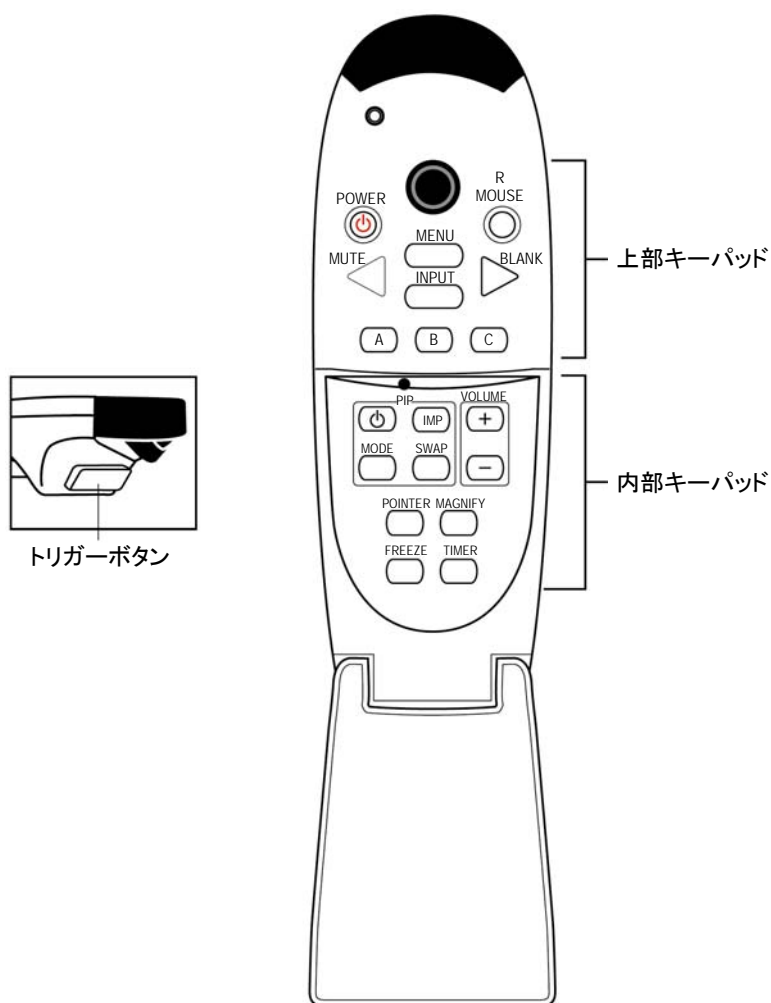
主電源スイッチを OFF にしたり、電源コードを抜く場合は、ON/OFF ボタンを押してからにしてください。ON/OFF ボタンを押した後も、ファンは放熱のため 5 分間作動し続けます。

リモコンユニット

主な特長

リモコンユニットからの信号を受ける赤外線センサーは、本機の ON/OFF ボタンの下にあります。センサーとリモコンの間隔は 4 m 以内にしてください。

リモコンユニットのキーパッドは開閉カバーの上部と内部に分かれています。赤外線信号の送信部の下にはトリガーボタンがあり、人差し指で簡単に押せるようになっています。



上部キーパッド

| | |
|----------------|---|
| POWER | <3M> Digital Wall Display の電源を ON/OFF します。電源が ON になると、本体の投影アームが自動的に出てきてランプが発光します。 |
| MUTE | 音声を一時的に OFF にします。もう一度押すか、内部キーパッドの<VOLUME +>ボタンまたは<VOLUME ->ボタンを押すと、音声は復帰します。 |
| 方向ノブ | <ul style="list-style-type: none"> マウスモードのときにコンピュータのマウスを動かします。 オンスクリーンメニューで数値を設定します。 ポインタモードのときにポインタを動かします。 オンスクリーンメニューの使用時またはポインタモードでは、マウスモードが一時的に OFF になります。マウスモードに戻すには、メニューを OFF にしてください。 |
| R MOUSE | マウスモードのときにマウスの右ボタンと同じ働きをします。 |
| MENU | オンスクリーンメニューを開きます。もう一度押すと、オンスクリーンメニューが閉じます。 |
| BLANK | スクリーンを空白にします。もう一度押すと、通常の表示に戻ります。 |
| INPUT | 入力ソースをコンピュータ→DVI→コンポーネント→S-Video→コンポジットビデオの順に切り替えます。 |
| <A> <C>ボタン | 各ボタンともリモート機能を登録することができます。 |

内部キーパッド

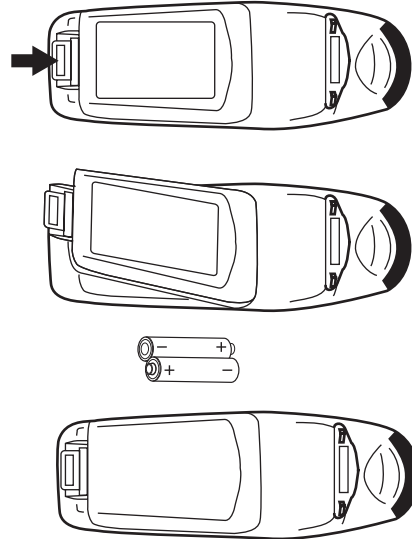
| | |
|---------|--|
| POINTER | ポインタモードを ON/OFF します。ポインタは方向ノブの矢印で動かすことができます。 |
| VOLUME | スピーカーの音量を上げるには<+>ボタン、下げるには<->ボタンを押します。<MUTE>でスピーカーが OFF になっている場合は、<+>ボタンまたは<->ボタンを押すと ON になります。 |
| TIMER | 秒読みタイマーの表示と非表示を切り替えます。タイマーを表示させると秒読みが始まります。 |
| FREEZE | 動画を静止画にすることができます。もう一度押すと、静止画モードが OFF になります。 |
| PIP | PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー) 機能では 2 つの画像を同時に表示させることができます。 |
| MODE | PIP 機能のモードを切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> POP (ピクチャー・アウトサイド・ピクチャー) PAP (ピクチャー・アンド・ピクチャー) PIP (ピクチャー・イン・ピクチャー) |
| SWAP | PIP 用の入力 (メイン入力とサブ入力) を切り替えます。 |
| INP | PIP 用の入力ソースを変更します。 |

トリガーボタン

トリガーボタンは赤外線信号の送信部の下にあり、ここからマウスの左クリックの機能を実行することができます。

電池の取り付けと交換

1. 電池ケースのカバーを下図の方向に押して持ち上げます。
2. 単 4 電池 2 本をケース内に図示された通りに挿入します。
3. 電池ケースのカバーを閉じます。



注意: 高温多湿を避けてください。新しい電池と古い電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

注意: 電池のリサイクル(処分)は、各地域の環境保護条例に従って行ってください。



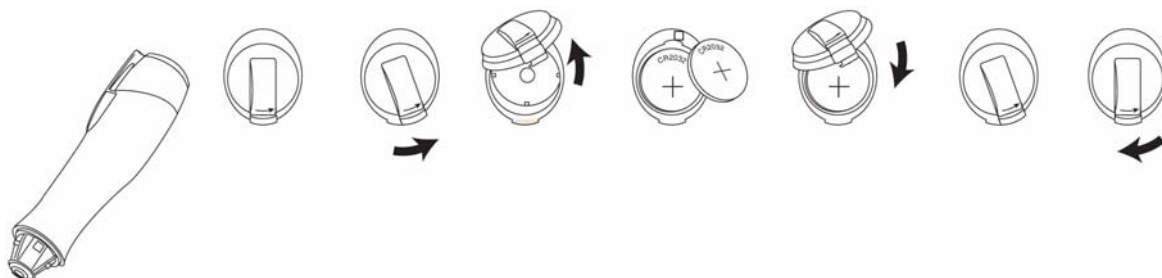
デジタルマーカーとイレーサー

デジタルマーカーの組み立て

<3M> Digital Wall Display は、マーカースリーブの発信器から送信される信号によってドライイレースマーカーの動きを感知します。

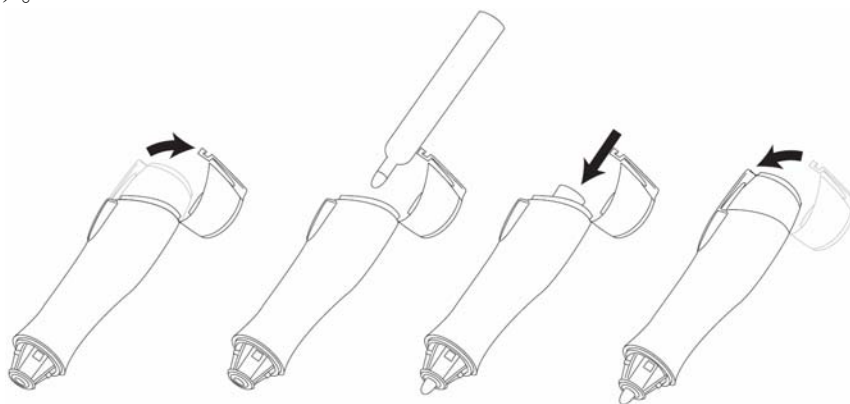
デジタルマーカーを組み立てるには...

1. マーカースリーブ末端部のふたを反時計方向に回して外します。2 枚の電池 (CR2032) を「+」側を上向きにして挿入します。ふたを時計方向に回して締めます。
2. マーカースリーブのクリップの下にある突起状のボタンを押してマーカーケースを開きます。



3. ドライイレースマーカーのキャップを外します。マーカーの色がマーカースリーブのカラーリングと合っていることを確認します。マーカーをスリーブに挿入してマーカーケースを閉じます。

注意: eBeam ソフトウェアは、マーカー自体でなくマーカースリーブの色を認識します。マーカーを<3M> Digital Wall Display のスクリーンに押し付けると、スリーブの色の書き込み信号が送信されるようになっています。



4. マーカーの先端が乾かないように、マーカースリーブにキャップをはめます。こうすることで、信号が誤って送信されることもなくなります。
5. 他のマーカースリーブについても上記の 1~4 を繰り返します。

注意: マーカースリーブの発信器は先端部分にあります。書き込みをするときには、信号をさえぎることのないように、スリーブの筒の部分を持ってください。

注意: 電池のリサイクル(処分)は、各地域の環境保護条例に従って行なってください。



デジタルイレーサーの組み立て

デジタルイレーサーもデジタルマーカと同様に信号を送信しますが、こちらはマーカでの書き込みを消す働きをします。フェルト部分を<3M> Digital Wall Display のスクリーンに押し付けると、消去信号が送信されます。

デジタルイレーサーのふたの溝にコインを差し込んで反時計方向に回し、ふたを外します。2 枚の電池 (CR2032) を「+」側を上向きにして挿入します。ふたを時計方向に回して締めます。



注意: 電池のリサイクル(処分)は、各地域の環境保護条例に従って行なってください。



メニューシステム

メニューの表示

画質や音量の調整はメインメニューとサブメニューから行ないます。メニューを開いて種々の調整を行なうには、本体の<MENU KEYPAD>ボタン、またはリモコンの<MENU>ボタンを使用します。メニュー内の移動には、<MENU KEYPAD>の矢印または方向ノブを使用します。メニュー項目を切り替えるには、トリガーボタンをクリックします。<MENU KEYPAD>または方向ノブでメニュー項目を切り替え、トリガーボタンをクリックしてメニューナビゲーションに戻ります。



音声

| | |
|-------------------|---------------------------|
| Volume | スピーカーの音量を調整します。 |
| Balance | 左右のスピーカー音量のバランスを調整します。 |
| Bass | 音声信号の低音部を調整します。 |
| Treble | 音声信号の高音部を調整します。 |
| Input | 表示画像の入力ソースを切り替えます。 |
| Internal Speakers | 内蔵スピーカーの ON/OFF を切り替えます。 |
| Mode | 音声のステレオ/モノを切り替えます。 |
| Reset to Defaults | 音声メニュー項目をすべてデフォルト設定に戻します。 |
| Exit Menu | メニューを終了します。 |

映像

| | |
|-------------|---|
| VGA | 表示画像を VGA に切り替えます。 |
| Component | 表示画像をコンポーネントに切り替えます。 |
| DVI Digital | 表示画像を DVI デジタルまたは DVI-I アナログ RGB に切り替えます。 |
| Composite | 表示画像をコンポジットに切り替えます。 |
| S-Video | 表示画像を S-Video に切り替えます。 |
| Exit Menu | メニューを終了します。 |

画像

| | |
|-------------------|--|
| Brightness | 画像の明るさを調整します。 |
| Contrast | 画像のコントラストを調整します。 |
| Sharpness | 画像のシャープネスを調整します。これはコンポジット信号と S-Video 信号のみ対応です。 |
| Hue | 画像の色相を調整します。 |
| Saturation | 画像の彩度を調整します。 |
| Aspect Ratio | 画像のサイズを変更します。 |
| Location | 画像の垂直位置と水平位置、高さと幅を調整します。 |
| Keystone | 画像の縦横の台形ひずみを調整します。 |
| Phase | 画像のちらつきをなくしたいときに調整します。 |
| Sync | 画像の縞模様をなくしたいときに調整します。 |
| Reset to Defaults | 画像メニュー項目をすべてデフォルト設定に戻します。 |
| Exit Menu | メニューを終了します。 |

PIP

| | |
|-----------------|---|
| Active (ON/OFF) | PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)機能の ON/OFF を切り替えます。 |
| Video Swap | メイン表示(全画面)の映像とサブ表示(小画面)の映像を入れ替えます。 |
| Audio Swap | メイン表示(全画面)の音声とサブ表示(小画面)の音声を入れ替えます。 |
| Mode | PIP のモードを POP(ピクチャー・オーバー・ピクチャー)と PAP(ピクチャー・アンド・ピクチャー)に切り替えます。 |
| Video Input | ピクチャー・イン・ピクチャー用の映像入力を選択します。 |
| Audio Input | ピクチャー・イン・ピクチャー用の音声入力を選択します。 |
| Location | PIP 表示の位置を設定します。 |
| Exit Menu | メニューを終了します。 |

構成

| | |
|--------------------------|--|
| Auto Switch Input | 映像の入力ソースを次に使用可能なものに切り替えます。 |
| Auto Switch PIP | 音声の入力ソースを次に使用可能なものに切り替えます。 |
| Auto Shutoff | 本機の電源を指定時間後に OFF にします。 |
| Blank Color | <BLANK>ボタンを押したときの表示色を切り替えます。 |
| Splash Screen | 起動画面と入力未検知画面を切り替えます。 |
| DVI EDID Select | デジタルソースには[DVI to Digital]、アナログソースには[DVI to Analog]を選択します。 |
| Reset System to Defaults | メニュー機能をすべてデフォルト設定に戻します。 |
| Information | 以下の保守点検情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ● Lamp Hours: ランプの使用時間 ● Optical Engine Hours: 光学エンジンの使用時間 ● System Hours: 本機の通電時間 ● Software Version Number: ディスプレイコントローラボード上のソフトウェアのバージョン番号 ● Software Build Number: ディスプレイコントローラボード上のソフトウェアのビルド番号 ● DCB Serial Number: 本機のシリアル番号 ● Arm Software Module: アームモジュールソフトウェアのバージョン ● I-Port Software Version: eBeam Imageport ソフトウェアのバージョン ● IP Address: イーサネット接続ネットワーク上の IP アドレス ● MAC Address: 本機用の MAC アドレス ● Pod Software Version: eBeam Pod ソフトウェアのバージョン |
| On Screen Timer | 画面上でのカウントダウン時間を選択します。 |
| Network | ネットワークの設定を行ないます。 <ul style="list-style-type: none"> ● DHCP: DHCP の ON/OFF を切り替えます。 ● IP Address: IP アドレスを設定します。 ● MAC: MAC アドレスを表示します。 ● Gateway: ネットワーク用のゲートウェイを設定します。 ● Subnet Mask: ネットワーク用のサブネットマスクを設定します。 |
| Diagnostics | サービスエンジニアが使用します。 |
| Language | OSD 言語を選択します。 |

<3M> Digital Wall Display を電子黒板モードで使用する

eBeam ソフトウェアのインストール

最低限必要なシステム

eBeam ソフトウェアを利用するには、以下のシステム構成が必要です。

- Pentium® 100 MHz 以上のプロセッサを搭載した Windows® PC
- Windows 98、2000、ME、XP、Windows NT 4.0 (他の O/S ではインターネットブラウザから Java™ アプレットでネット上で開催中の会議の閲覧が可能)
- ハードディスク空き容量 10 MB
- 256 色 VGA/SVGA モニタ
- CD-ROM ドライブまたはインターネット接続 (ソフトウェアのインストール用)
- シリアルポートまたは USB ポート (USB シリアルアダプタが必要)

ソフトウェアのインストール

eBeam ソフトウェアのインストールは下記の手順で行ないます。

1. 「3M Digital WallDisplay Software and Documentation」の CD を PC の CD-ROM ドライブに挿入します。
2. CD から自動的にメニューが開きます。
3. <Install Software> ボタンをクリックして [Install Software] メニューを開きます。
4. <Install eBeam> ボタンをクリックしてインストーラを起動します。
5. インストーラの指示に従ってインストールを進めてください。

電子黒板モード (9200IC Plus のみ)

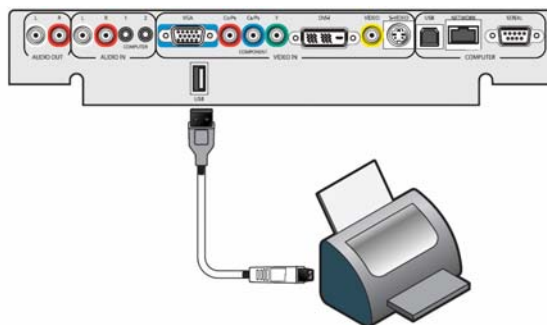
このモードでは、本機にスクリーン上のデータを読み込み、本機に直結したプリンタから出力することができます。コンピュータとプロジェクタは使用しません。

投影モード (9200IW Plus / IC Plus のみ)

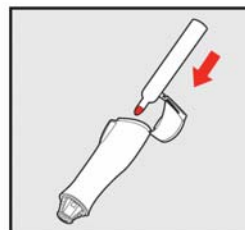
このモードでは、本機のスクリーンにコンピュータのデスクトップを投影し、本機をタッチスクリーンのような感覚で 사용할ことができます。ドライイレースマーカーは使用せず、その代わりに eBeam プレゼンテーションペンを使用します。プレゼンテーションペンは、PC のマウスと同様に機能します (右クリックにも対応)。本体の<プリンタ> ボタンと<新規ページ> ボタンは機能しません。

電子黒板モードで利用する(9200IC Plus のみ)

1. プリンタの USB ケーブルを本機の USB ポートに接続します。本機がコンセントに接続されており主電源スイッチが ON になっていることを確認します。ON/OFF ボタンは OFF でもかまいません。



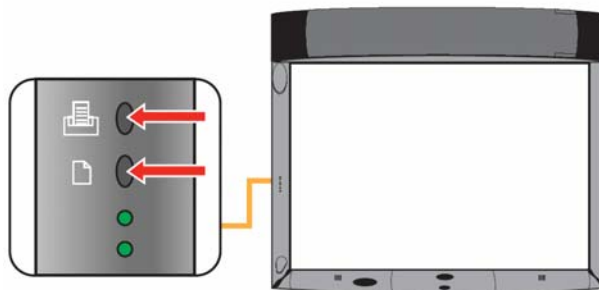
2. ドライイレースマーカーをデジタルペンスリーブに挿入します。



3. デジタルマーカーで本機のスクリーンに書き込みをします。




4. <プリンタ>ボタンを押して書き込んだものを出力します。
5. <新規ページ>ボタンを押してメモリの内容をクリアします。



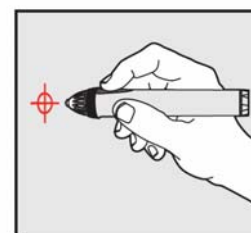
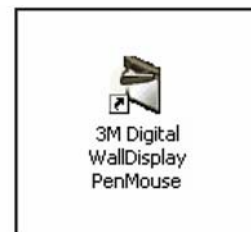
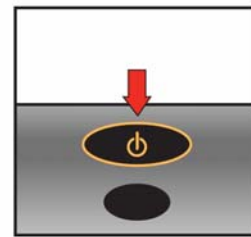
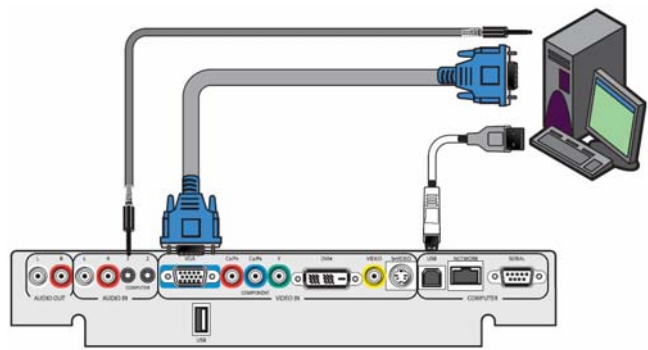
投影モードで利用する(9200IW Plus/IC Plus のみ)

注意: eBeam ソフトウェアをコンピュータにインストールしていない場合は、<3M> Digital WallDisplay CD-ROM からインストールすることができます。

1. VGA ケーブルでコンピュータの VGA/Monitor ポートと本機の VGA ポートを接続します。
2. USB ケーブルでコンピュータの USB ポートと本機の Computer-USB ポートを接続します。
3. PC オーディオケーブルでコンピュータのヘッドフォンジャックと本機の Audio In-Computer ジャックの一方を接続します。
4. 本機の ON/OFF ボタンを押してランプを点灯させます。

注意: ラップトップコンピュータを使用している場合は、「Fn + 」または「Fn + LCD/CRT」で表示機能を切り替えてください。

5. コンピュータのデスクトップで eBeam アイコンをダブルクリックしてホワイトボードソフトウェアを起動します。
6. 右図のダイアログで<Calibrate>ボタンをクリックします。
7. プレゼンテーションペンでハイライト表示のターゲットをタップしていきます。



8. eBeam 注釈ツールでプレゼンテーションに書き込みをします。



Interactive マウスインサート

Interactive マウスインサートは<3M> Digital Wall Display 専用のスタイラスペンで、コンピュータのマウスとまったく同じ感覚で使用することができます。

Interactive マウスインサートの各部の働きを下表にまとめました。

| | | |
|---------------------------------|---|----------------------------------|
| A ボタン(メニューボタン) |  | マウスの右クリックと同様の働きをします。 |
| B ボタン(Interactive ツール表示/非表示ボタン) |  | Interactive ツールの表示/非表示を切り替えます。 |
| ペン先 |  | マウスの左クリックと同様の働きをします。 |
| 電池カバー |  | このカバーを反時計方向に回して開き、単三電池の着脱を行ないます。 |

注意: 電池のリサイクル(処分)は、各地域の環境保護条例に従って行なってください。



<3M> Digital WallDisplay 向け eBeam ソフトウェアの詳細については、『eBeam Software for 3M Digital WallDisplay オペレータガイド』を参照してください。

メンテナンス

日常のお手入れ

<3M> Digital Wall Display のスクリーンや外装の汚れを落とすには、水で湿らせた布やドライタイプのクリーニングクロス (Scotch-Brite™ 高機能クロス) を使用してください。

スクリーンがマーキングペンの消し跡等で汚れた場合には、オフィスクリーナー OC-100M などを使用することができます。なお、本機のどの部分にもスプレーや液体系のクリーナーは使用しないでください。



ランプの交換時期

本機のランプの平均寿命は 1600 時間ほどです。ランプを 1400 時間以上使用すると、本機の立ち上げ後の 3 分間、下記のメッセージがスクリーンに表示されます。その場合は、本機の電源を OFF にしてランプを新品と交換してください。古いランプを使用すると誤作動の原因になることがありますので、ご注意ください。

ランプ関連のメッセージ

PLEASE CHANGE THE LAMP

ランプを 1400～1499 時間使用しましたので、交換してください。ランプの交換後は使用時間をリセットしてください。

THERE ARE (x) HOURS OF LAMP LIFE REMAINING THE WALLDISPLAY WILL SHUT OFF IN 40 MINUTES

ランプを 1500～1579 時間使用しましたので、40 分以上使用すると電源が OFF になります。ランプの交換後は使用時間をリセットしてください。

THERE ARE (x) HOURS OF LAMP LIFE REMAINING THE WALLDISPLAY WILL SHUT OFF IN 5 MINUTES

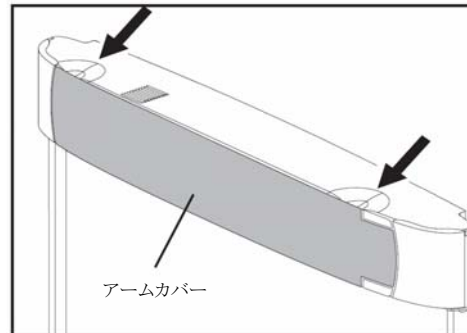
ランプを 1580 時間以上使用しましたので、5 分後に自動的に電源が OFF になります。ランプの交換後は使用時間をリセットしてください。

どのメッセージもランプを交換するまで繰り返し 3 分程度表示されます。

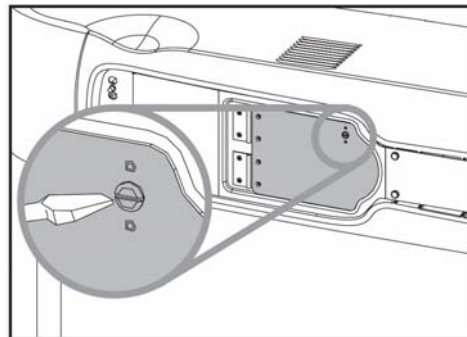
ランプ交換の手順は次ページを参照してください。

ランプの交換

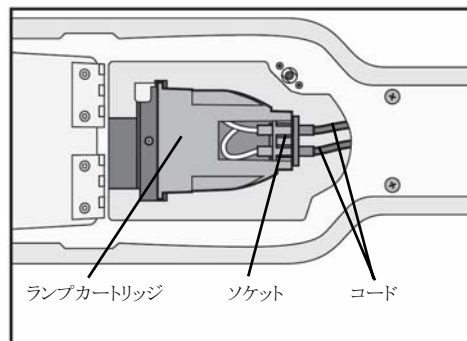
1. 本機の電源を OFF にして電源コードをコンセントから抜きます。
2. 必要に応じて、ランプの熱が冷めるまで 45 分ほどお待ちください。
3. アームカバー両端の向こう側にくぼみがありますので、その部分でアームカバーを持って取り外します。



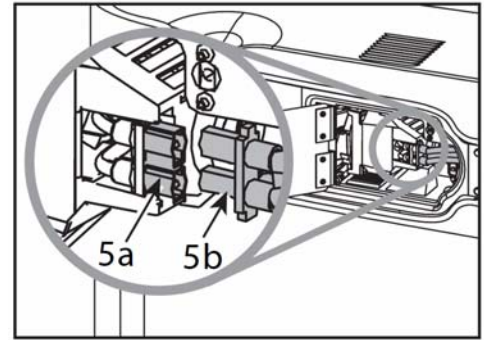
4. 通常のドライバーでランプハウジングカバー右上のネジを緩めます。



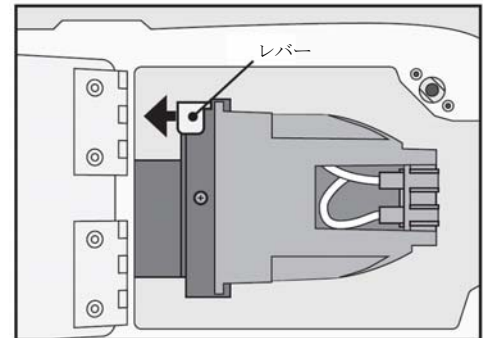
5. ランプカートリッジ右側の黒いソケットに黒いコード 2 本が接続されています。



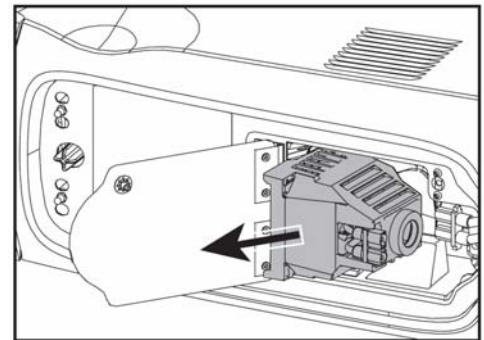
このソケット(図の 5a)を左親指で押さえ、右手でコネクタ(図の 5b)を引き抜きます。



6. 金属製レバーを左側にスライドさせてラッチを開きます。



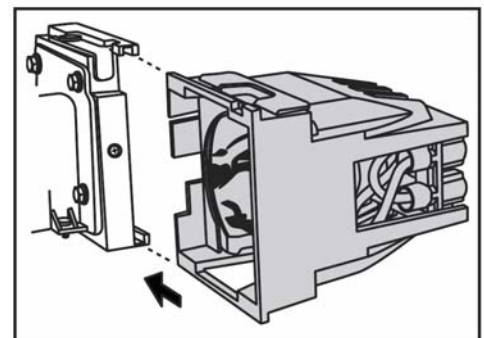
7. ラッチを開いた状態で、ランプカートリッジを真っ直ぐに引き出します。



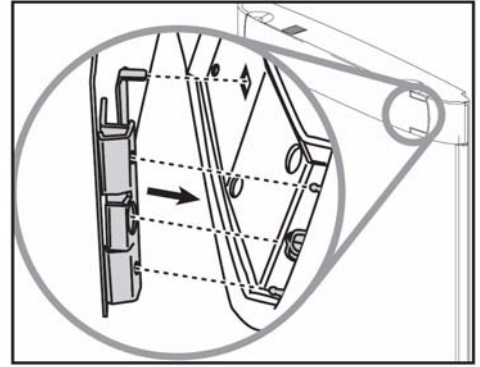
8. ラッチを開いた状態で、新しいランプカートリッジを挿入します。

9. 黒いコード2本をソケットに接続します。

10. ランプハウジングカバーを閉じてネジを締めます。

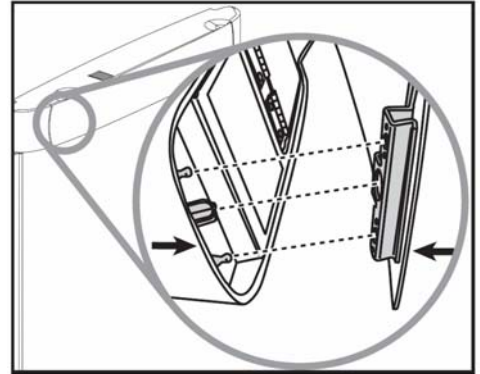


11. アームカバーと投影アームの右端部分で突起と穴を揃えてはめ込みます。



12. アームカバーと投影ヘッドの左端部分で突起と穴を揃えてはめ込みます。

注意: アームカバーは「カチッ」というまで確実に差し込んでください。



ランプの交換後は使用時間をリセットしてください(次ページ参照)。

ランプ使用時間のリセット

ランプを交換して本機の電源を ON にしたら、10 分以内にランプの使用時間をリセットしてください。

1. 本体の<MENU KEYPAD>を押すか、リモコンの<MENU>ボタンとディスクパッドを使用して[Tools]メニューまでスクロールします。
2. [Tools]のサブメニューの[Usage/Hrs]でランプの使用時間を表示させます。
3. 次のサブメニューで[Lamp Reset]を選択します。
4. [Exit]を選択します。

注意: ランプカートリッジを交換していない場合は、部品を破損することがありますので、ランプの使用時間をリセットしないでください。

重要: このランプは水銀を含みます。ランプカートリッジはゴミ箱に投棄せず、各地域の有害廃棄物条例に従って処分してください。詳細については、地方自治体の窓口またはホームページでご確認ください。

ファンフィルターのクリーニング

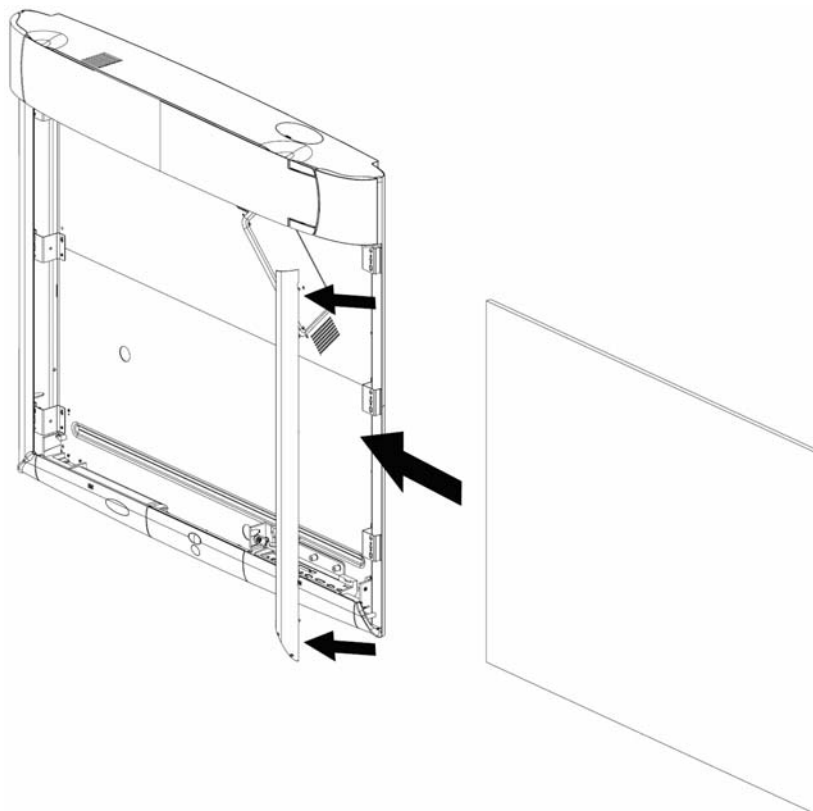
ランプ冷却ファンの外側に 2 枚のフィルターがあり、ランプの上下に冷却ファンがあります。本機を正常に稼働させるため、ランプ上部のファンフィルターは 1,000 時間ごとにクリーニングして目詰まりを防止してください。

1. 上部のフィルターをクリーニングするには、アームカバーを取り外してランプカバーを開き、ランプを取り外します。
2. ランプ上部の通気口から空気が流れ込むように圧縮エアノズルの位置を調整します。
3. 圧縮エアーを通気口に通し、たまったほこりが空気の流れてランプカバーから出ていくようにします。

投影スクリーンの交換

本機のスクリーンの交換はとても簡単です。

1. 本機の電源を OFF にして電源コードをコンセントから抜きます。
2. 左側ベゼルまたは右側ベゼルを取り外します。外れにくい場合は、ベゼルの上部にある切り欠き部分にドライバーを差し込んで取り外してください。
3. スクリーンを真っ直ぐに引き出します。スクリーンを引き出す側には 1.2 m ほどのスペースを空けておいてください。
4. 新しいスクリーンを挿入します。ベゼルを取り付ける前に、スクリーンが真ん中にあることを確認してください。ベゼルの内側にはピンがあり、スクリーンが片寄っていると、このピンで表面が傷つくことがあります。
5. ベゼルを下部から先にはめ込んで取り付けます。

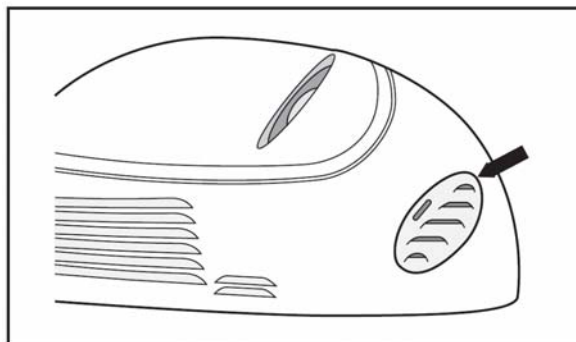


光学エンジンの調整

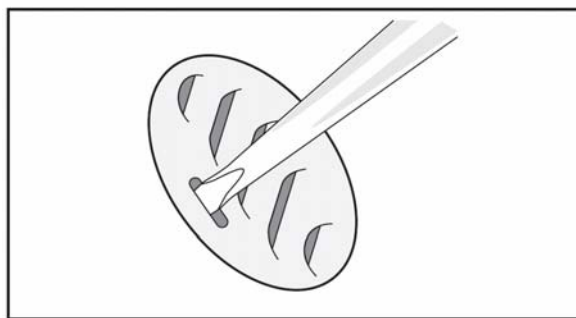
縦長または横長の画像がスクリーン全体に表示されない、あるいはタイル状に分割される場合は、光学エンジンの位置調整を行なってください。

注意: この調整の前に、アームユニットを上下に動かして無理な力がかからないようにし、アームが元に戻り定位位置に画像を投影することを確認してください。

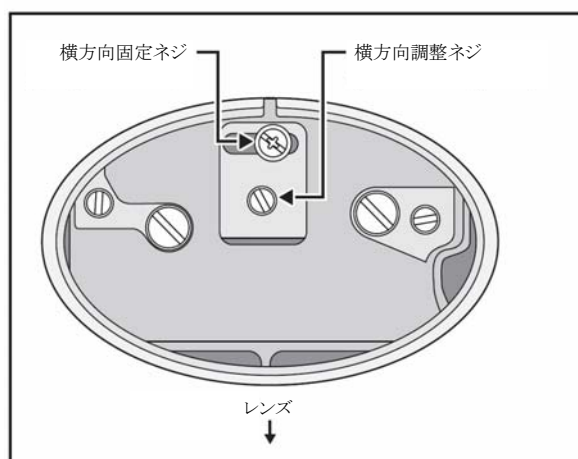
1. 光学エンジンのカバーは投影アームの下部にあります。



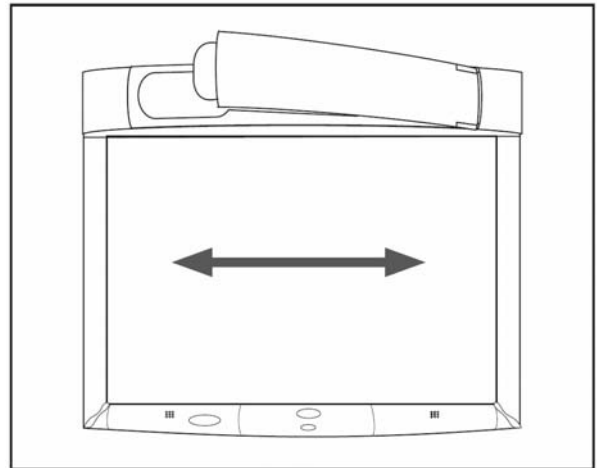
2. 細いドライバーの歯の部分でカバーリリースを「開」位置へスライドさせ、カバーを慎重に持ち上げます。



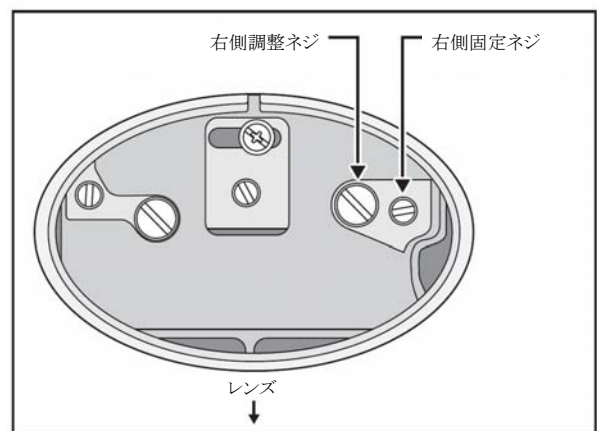
3. 中央に横方向調整ネジと横方向固定ネジがあります。



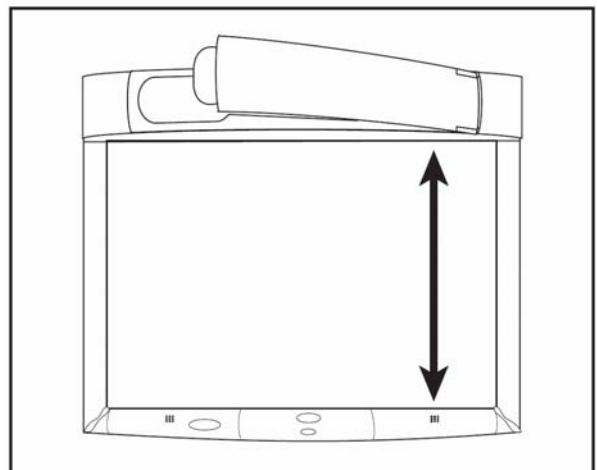
4. 固定ネジを緩めます。ドライバーの歯の部分で調整ネジを回してスクリーン画像を左右に動かします。調整が終わったら固定ネジを締めます。



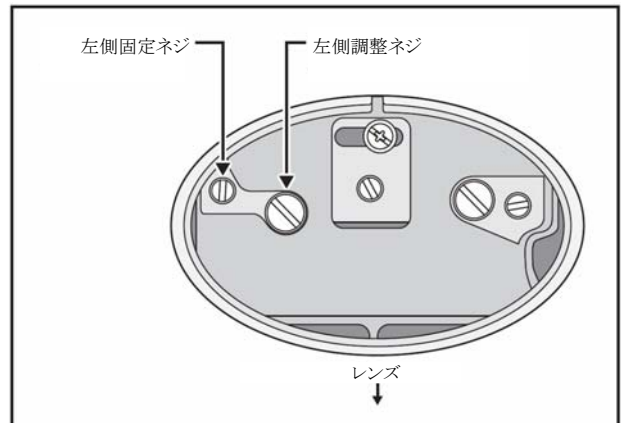
5. 右側に右側調整ネジと右側固定ネジがあります。



6. 固定ネジを緩めます。ドライバーの歯の部分で調整ネジを回してスクリーン画像の右側を上下に動かします。調整が終わったら固定ネジを締めます。

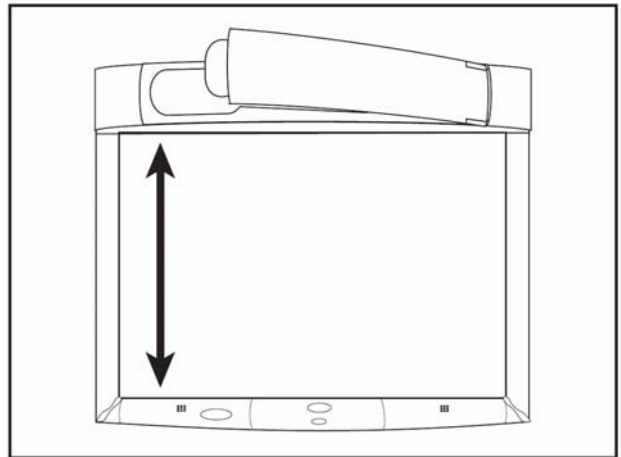


7. 左側に左側調整ネジと左側固定ネジがあります。



8. 固定ネジを緩めます。ドライバーの歯の部分で調整ネジを回してスクリーン画像の左側を上下に動かします。調整が終わったら固定ネジを締めます。

注意: この調整の後に、画像を正しくセンタリングするため、横方向の調整が必要になることがあります。



9. 光学エンジンのカバーを取り付けます。

トラブルシューティング

一般的な問題と対処方法

| 問題 | 原因 | 対処方法 |
|----------------------|---|------------------------------------|
| 電源が入らない | 電源コードが接続されていません。 | 電源コードを AC コンセントに接続してください。 |
| | 主電源スイッチが ON になっていません。 | 主電源スイッチを ON にしてください。 |
| | アームカバーが正しく装着されていません。 | アームカバーを正しく取り付けてください。 |
| 画像も音声も出ない | 適切な入力ソースが選択されていません。 | リモコンの<INPUT>ボタンで適切な入力ソースを選択してください。 |
| | 入力ソースからのケーブルが接続されていません。 | ケーブルを適切な入力ソースに接続してください。 |
| | 入力ソースが ON になっていないか、画像を表示していません。ノートパソコンの場合、外付けモニタ用のポートが OFF になっていませんか？ | 入力ソースの電源を ON にしてください。 |
| ランプが発光しない | 内部の温度が高すぎます。 | 冷却ファンのフィルターをクリーニングしてください。 |
| | ランプが交換時期に達したか、あるいはまったく使用不可能な状態になっています。 | ランプを交換してください。 |
| 投影アームが出てきた後に引っ込んでしまう | ランプが発光不能な状態です。 | ランプを交換してください。 |
| 音声は聞こえるが画像が表示されない | VGA/ビデオケーブルが接続されていません。 | ケーブルを適切な入力ソースに接続してください。 |
| | VGA/ビデオ/オーディオケーブルが不適切な入力ソースに接続されています。 | |
| 画像は表示されるが音声がか聞こえない | オーディオケーブルが不適切な入力ソースに接続されています。 | ケーブルを適切な入力ソースに接続してください。 |
| | 音声と映像の設定に問題があります。 | メニューで設定を確認してください。 |
| | 音量が最小に設定されています。 | 音量を上げてください。 |
| | [Mute]が ON になっています。 | [Mute]を OFF にしてください。 |
| 画像が暗い | 明るさの設定が低すぎます。 | 明るさを調整してください。 |
| | ランプの交換時期です。 | ランプを交換してください。 |
| 目的とする入力ソースが認識されない | 入力ソースが作動していません。入力ソースを選択するにはそこからの信号が必要です。 | 正常に作動している入力ソースを本機に接続してください。 |
| | 入力ソース(コンピュータや DVD プレーヤーなど)の電源が OFF になっています。 | 入力ソースの電源を ON にしてください。 |
| リモコンが機能しない | リモコンが本体のセンサーに正対していません。 | リモコンを本体のセンサーに正対させてください。 |
| | リモコンが本体のセンサーから離れすぎています。 | リモコンはセンサーから 5 m 以内で操作してください。 |
| | リモコンとセンサーの間に障害物があります。 | 障害物を取り除いてください。 |
| | リモコンの電池が切れているか、正しく挿入されていません。 | 電池を交換するか、正しく挿入してください。 |

オンスクリーンメッセージ

| メッセージ | 意味 |
|---|---|
| 「入力が検知されません」 | 入力ソースからの信号が本機に届いていません。ケーブルが正しく接続されているか、入力ソースの電源が ON になっているか、入力ソースが正常に作動しているかどうかを確認してください。 |
| 「ランプを交換してください」 | ランプを 1,400～1,499 時間使用しましたので、交換してください。 |
| 「ランプの残り寿命が XX 時間になりました Wall Display は 40 分後にシャットダウンされます」 | ランプを 1,500～1,579 時間使用しましたので、40 分後に電源が OFF になります。ランプを交換してください。 |
| 「ランプの残り寿命が XX 時間になりました Wall Display は 5 分後にシャットダウンされます」 | ランプを 1,580 時間以上使用しましたので、5 分後に電源が OFF になります。ランプを交換してください。 |

サービス情報

パーツとアクセサリ

| 品目 | 型番 |
|----------------------|----------------|
| 8510LK DWD スペアランプ | 78-6969-9736-6 |
| HA 100 リモコンユニット | 78-8121-0330-3 |
| WD 7110 ホワイトボードスクリーン | 78-6969-9469-4 |

オプションアクセサリ

| | |
|------------------|----------------|
| WD 7120 高輝度スクリーン | 78-6969-9471-0 |
|------------------|----------------|

お問い合わせとご注文

製品とサービスについてのお問い合わせは、住友スリーエム株式会社ビジュアルシステムズプロジェクト部 (0120-615-110) で承っております。

本書の内容は予告なしに変更されることがあります。

3M は、第三者の権利に対する侵害、および本書に記載の情報から発生し得るその他の権利に対する侵害の責任を負いません。

本書を無許可で複製することは、その形態の如何を問わず、厳禁されています。

付録

<3M> Digital Wall Display 仕様

| | | |
|----------------|--|--------------------------|
| 表示サイズ | スクリーンサイズ 60 インチ、投影サイズ 59.4 インチ | |
| 表示縦横比 | 4:3 | |
| 表示システム | シングルチップ、DLP™Texas Instruments テクノロジー | |
| DLP チップ | チップ対角サイズ | 0.7 インチ |
| | ピクセル数 | 1024×768 ピクセル |
| カラー | 24 ビットフルカラー | |
| コントラスト比 | 150:1 | |
| 寸法 | 1208 mm (高さ) × 1350 mm (幅) × 179 mm (奥行) | |
| 重量 | 39 kg | |
| ビデオ互換性 | NTSC、NTSC 4.43、PAL、PAL-N、PAL-M、SECAM、480p、720p、1080i | |
| コンピュータビデオ互換性 | VGA から SXGA | |
| マウスエミュレーション | USB | |
| 入力/出力 端子 | コンピュータ入力信号 | アナログ RGB: 15 ピンミニ D-Sub |
| | | デジタル RGB: DVI-D |
| | | アナログ RGB: DVI-I (アダプタ付き) |
| | ビデオ入力信号 | オーディオ: 3.5 mm ステレオミニジャック |
| | | コンポーネントビデオ: RCA×3 |
| | | S-Video: ミニ DIN 4 ピン |
| | コンポジットビデオ: RCA×1 | |
| オーディオアウト | RCA ジャック端子 | |
| RS-232 制御ポート | 9 ピン D-Sub | |
| マウスエミュレーションポート | USB | |
| ネットワーク | RJ45 | |
| オーディオシ ステム | アンプ (スピーカーへ) | 20 W/チャンネル |
| | スピーカー | 最大 40W、8 Ω |
| 電源条件 | AC 100～240 V、50/60 Hz、最大 400W | |

入出力信号仕様

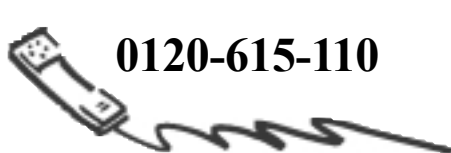
| | | | |
|--------|-----------|----------|------------------------------|
| コンピュータ | ビデオ信号 | | アナログ 0.7 Vp-p、75 Ω終端(+) |
| | 水平同期信号 | | TTL レベル(+/-) |
| | 垂直同期信号 | | TTL レベル(+/-) |
| | オーディオ入力信号 | | 200m Vrms、20k Ω(最大 3.0 Vp-p) |
| | オーディオ出力信号 | | 0~200m Vrms、1k Ω |
| ビデオ | S-Video | 輝度信号 | 1.0 Vp-p、75 Ω |
| | | クロミナンス信号 | 0.286 Vp-p(カラーバースト)、75 Ω |
| | ビデオ信号 | | 1.0 Vp-p、75 Ω |
| | オーディオ入力信号 | | 200 m Vrms、20k Ω |

コンピュータ互換性

| 解像度 | 垂直走査周波数 | 水平周波数 |
|-----------|---------|----------|
| 640×400 | 85 Hz | 37.9 kHz |
| | 60 Hz | 31.5 kHz |
| | 72 Hz | 37.9 kHz |
| | 75 Hz | 37.5 kHz |
| | 85 Hz | 43.3 kHz |
| 800×600 | 56 Hz | 35.1 kHz |
| | 60 Hz | 37.9 kHz |
| | 72 Hz | 48.1 kHz |
| | 75 Hz | 46.9 kHz |
| | 85 Hz | 53.7 kHz |
| 1024×768 | 60 Hz | 48.4 kHz |
| | 70 Hz | 56.5 kHz |
| | 75 Hz | 60.0 kHz |
| | 85 Hz | 68.7 kHz |
| 1280×1024 | 60 Hz | 64.0 kHz |

重要

3M社の製品に関する記載、技術情報、推奨事項等は、信頼に足ると思われる情報に基づいていますが、その正確性あるいは完全性を保証するものではありません。お客様はご使用に先立ち本製品を評価し、お客様の用途への適合性をご判断ください。お客様の用途に関わる危険性および責任は、お客様が全面的に負うものとします。本製品に関する表明で3M社の最新の刊行物に記載されていないもの、あるいはお客様の注文書に記載されている、相反する表明は、3M社の権限ある役員が署名した契約書により合意する場合を除き、効力を有しません。



0120-615-110



**http://www.mmm.co.jp/wall_display
e-mail: visual@info.mmm.co.jp**

住友スリーエム株式会社 ビジュアルシステムズプロジェクト部
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1